

Handwritten signature/initials

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-30320

(P2003-30320A)

(43) 公開日 平成15年1月31日 (2003.1.31)

(51) IntCl.⁷

G 0 6 F 17/60

識別記号

1 2 6

F I

G 0 6 F 17/60

テークコード* (参考)

1 2 6 A

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願2001-219857 (P2001-219857)

(22) 出願日 平成13年7月19日 (2001.7.19)

(71) 出願人 000001889

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

(72) 発明者 野々垣 正敏

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三

洋電機株式会社内

(74) 代理人 100087778

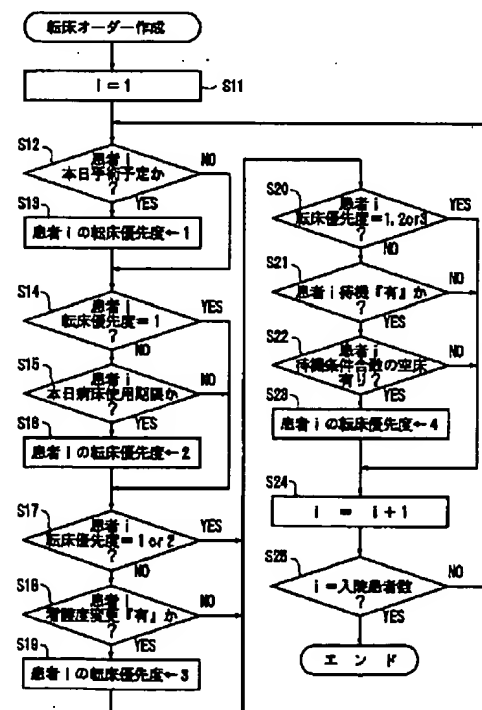
弁理士 丸山 明夫

(54) 【発明の名称】 診療支援システム

(57) 【要約】

【課題】 一覧表示されている入院患者の中で、転床登録が必要な患者や、その優先度を明示できるようにする。

【解決手段】 患者選択画面にて転床登録対象の患者を選択し、転床登録画面にて該患者の転床を登録する診療支援システム。所定の転床条件であって各々が優先度を持つ転床条件を満たした患者を転床登録の必要な要転床患者に設定する手段と、患者が要転床患者に設定されているか否かを前記患者選択画面の各患者毎に各々その優先度とともに表示する手段とを有する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 患者選択画面にて転床登録対象の患者を選択し、転床登録画面にて該患者の転床を登録する診療支援システムであって、
所定の転床条件を満たした患者を転床登録の必要な要転床患者に設定する要転床患者設定手段と、
患者が要転床患者に設定されているか否かを前記患者選択画面の各患者毎に各々表示する要転床患者表示手段と、
を有することを特徴とする診療支援システム。

【請求項2】 請求項1に於いて、
前記所定の転床条件は各転床条件毎に各々優先度を有し、
前記要転床患者表示手段は、患者が満たした転床条件の優先度を表示することにより当該患者が要転床患者に設定されていることを表示する、
ことを特徴とする診療支援システム。

【請求項3】 請求項2に於いて、
前記所定の転床条件は、優先度の高い順に、当日の手術予定、当日のベッド使用期限の満了、看護度の変更である、
ことを特徴とする診療支援システム。

【請求項4】 患者選択画面にて転床登録対象の患者を選択し、転床登録画面にて該患者の転床を登録する診療支援システムであって、
病床を利用可能な患者範囲を規定する基本患者条件と、
病床の付帯設備を規定する付帯設備情報と、
病床の利用可能期間を規定する空床期間情報とを、各病床毎に各々管理する病床管理手段と、
転床登録対象の患者と前記基本患者条件とを照合し、該患者の病床利用予定期間と前記空床期間情報とを照合し、該患者に望まれる付帯設備と前記付帯設備情報とを照合して、該患者に適する病床を検索する病床検索手段と、

検索の結果、前記基本患者条件と空床期間情報と付帯設備情報の全てを満足する病床は無いが前記基本患者条件と空床期間情報を満足する病床が有る場合は当該病床への転床登録を促し、当該病床への転床が登録されると該患者を転床登録を待機中の待機患者に設定する待機患者設定手段と、
待機患者に適する病床が検索された場合は、該待機患者を転床登録の必要な要転床患者に設定する要転床患者設定手段と、
患者が要転床患者に設定されているか否かを前記患者選択画面の各患者毎に各々表示する要転床患者表示手段と、
を有することを特徴とする診療支援システム。

【請求項5】 請求項4に於いて、
前記要転床患者設定手段は、適する病床が検索された待機患者に加えて、さらに、所定の転床条件を満たした患

者を要転床患者に設定する、
ことを特徴とする診療支援システム。

【請求項6】 請求項5に於いて、
前記所定の転床条件は各転床条件毎に各々優先度を有するとともに、待機患者に適した病床の空きという転床条件も優先度を有し、
前記要転床患者表示手段は、患者が満たした転床条件の優先度を表示することにより当該患者が要転床患者に設定されていることを表示する、

10 ことを特徴とする診療支援システム。

【請求項7】 請求項6に於いて、
前記所定の転床条件は、優先度の高い順に、当日の手術予定、当日のベッド使用期限の満了、看護度の変更であり、その下位に待機患者に適した病床の空きという転床条件の優先度が位置付けられている、
ことを特徴とする診療支援システム。

【請求項8】 請求項4～請求項7の何れかに於いて、
前記付帯設備は、患者の看護度に依りて定まる診療に必要な診療設備と、患者の利便性を改善する利便設備である、

20 ことを特徴とする診療支援システム。

【請求項9】 請求項4～請求項8の何れかに於いて、
転床登録対象の患者に関する所要の検索条件を与えて前記病床検索手段を起動するための病床検索画面は、前記転床登録画面にて起動される、
ことを特徴とする診療支援システム。

【請求項10】 請求項1～請求項9の何れかに於いて、
前記転床登録画面は、前記患者選択画面での転床登録対象の患者の選択により起動される、
ことを特徴とする診療支援システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、患者選択画面に一覧表示された患者の中から転床（病床の変更（新規設定を含む））登録対象の患者を選択し、該転床登録画面にて該選択患者の転床を登録する機能を備えた診療支援システムに関する。

【0002】

40 【従来の技術】図15は、患者選択画面にて患者を選択し、転床登録画面にて患者の転床を登録する従来のシステムの画面遷移の説明図である。従来のシステムでは、図示のように、入院患者一覧画面に表示された中から転床登録対象の患者を選択し、且つ、転床のチェックボックスにチェックを記入すると、転床登録画面が表示される。この転床登録画面にて所要の事項を入力して、転床ボタンを押下すると、入力された事項が登録される。即ち、転床登録が行われる。入力すべき事項中の病床（病棟&病室&ベッド）が不明な場合は、転床登録画面にて空床検索ボタンを押下する。これにより、空床検索画面

が表示され、所要の条件を備えた空き病床の検索が可能になる。また、検索結果の中から所望の病床を選択して決定ボタンを押下すると、空床検索画面から転床登録画面に戻る。この復帰後の転床登録画面の病床(病棟&病室&ベッド)の入力欄には、上記で選択した病床が表示されており、転床ボタンの押下により、該病床を含む各事項を転床登録することができる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来のシステムでは、入院患者一覧画面に表示されている中で、どの患者の転床登録が必要であるか分からず、当然ながら、どの患者の転床登録を優先的に行うべきかも分からなかった。このため、操作者は、患者管理部門等から渡された手書きメモの転床オーダー等を見て患者を選択したり、優先度を決定したりせざるを得ず、業務効率が悪いという問題があった。

【0004】また、従来のシステムは、空床検索機能を備えているが、その機能は限定されており、例えば、患者に必要な看護度合いに適合する病床や、患者が望む付帯設備を備えた病床を検索することはできず、当然ながら、患者に必要な看護度合いに適合する病床や患者が望む付帯設備を備えた空床が無い場合に、最低限の基本要件を備えた空床を登録しておき、看護度合いに適合する病床や付帯設備を備えた病床が空いた時点で切り換えるための機能も備えていなかった。

【0005】本発明は、上記の事情に鑑みたものであり、一覧表示されている入院患者の中で、転床登録が必要な患者や、その優先度を明示できるようにすることを目的とする。また、患者に必要な看護度合いに適合する病床や、患者が望む付帯設備を備えた病床を検索できるようにすることを目的とする。さらに、患者に必要な看護度合いに適合する病床や、患者が望む付帯設備を備えた空床が無い場合に、最低限の基本要件を備えた空床を登録しておき、看護度合いに適合する病床や付帯設備を備えた病床が空いた時点で切り換え得るようにすることを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、患者選択画面にて転床登録対象の患者を選択し、転床登録画面にて該患者の転床を登録する診療支援システムであって、所定の転床条件を満たした患者を転床登録の必要な要転床患者に設定する要転床患者設定手段と、患者が要転床患者に設定されているか否かを前記患者選択画面の各患者毎に各々表示する要転床患者表示手段と、を有することを特徴とする診療支援システムである。転床登録とは、入院予定患者の予約病床をシステムに登録すること、及び、入院患者の病床の変更をシステムに登録することをいう。登録事項には、病床を特定する事項と、使用開始時期を特定する事項とが、必須事項として含まれる。患者選択画面には、入院患者と入院予約患者の一覧

が表示される。画面サイズの関係で全ての患者やその事項を同時に表示できない場合には、スクロール等の公知の画面切換手法で表示領域を切り換え得ることは勿論である。また、画面とは、ディスプレイの表示領域全域を指してもよいが、表示領域の一部にウィンドウ表示されているものを指す場合も当然に含む。患者が要転床患者に設定されているか否かを各患者毎に各々表示する方式としては、全患者を表示してその中で要転床患者に設定されている患者を指示する方式(後述の実施の態様の方式)ばかりでなく、例えば、要転床患者に設定されている患者を抽出して一覧画面に表示する方式を採用することもできる。

【0007】請求項2の発明は、請求項1に於いて、前記所定の転床条件は各転床条件毎に各々優先度を有し、前記要転床患者表示手段は患者が満たした転床条件の優先度を表示することで当該患者が要転床患者に設定されていることを表示する、ことを特徴とする診療支援システムである。つまり、請求項2の発明では、患者が要転床患者に設定されているか否かの表示と併せて、設定されている場合にはその優先度も表示される。請求項3の発明は、請求項2に於いて、前記所定の転床条件は、優先度の高い順に、当日の手術予定、当日のベッド使用期限の満了、看護度の変更である、ことを特徴とする診療支援システムである。

【0008】請求項4の発明は、患者選択画面にて転床登録対象の患者を選択し、転床登録画面にて該患者の転床を登録する診療支援システムであって、病床を利用可能な患者範囲を規定する基本患者条件と病床の付帯設備を規定する付帯設備情報と病床の利用可能期間を規定する空床期間情報とを各病床毎に各々管理する病床管理手段と、転床登録対象の患者と前記基本患者条件とを照合し、該患者の病床利用予定期間と前記空床期間情報とを照合し、該患者に望まれる付帯設備と前記付帯設備情報とを照合して、該患者に適する病床を検索する病床検索手段と、検索の結果、前記基本患者条件と空床期間情報と付帯設備情報の全てを満足する病床は無いが前記基本患者条件と空床期間情報を満足する病床が有る場合は当該病床への転床登録を促し、当該病床への転床が登録されると該患者を転床登録を待機中の待機患者に設定する待機患者設定手段と、待機患者に適する病床が検索された場合は該待機患者を転床登録の必要な要転床患者に設定する要転床患者設定手段と、患者が要転床患者に設定されているか否かを前記患者選択画面の各患者毎に各々表示する要転床患者表示手段と、を有することを特徴とする診療支援システムである。基本患者条件としては、例えば、性別、診療科等がある。付帯設備には、看護の必要上の付帯設備と、利便性を向上させるための付帯設備とがある。前者は、例えば、集中治療のための設備等である。後者には、例えば、バス、トイレ、洗面、シャワー、TV、ビデオ、TVゲーム、LAN、ファック

ス、電話、個室／相部屋の別、相部屋の場合の人数、病床の位置や向き、等がある。

【0009】請求項5の発明は、請求項4に於いて、前記要転床患者設定手段は、適する病床が検索された待機患者に加えて、さらに、所定の転床条件を満たした患者を要転床患者に設定する、ことを特徴とする診療支援システムである。請求項6の発明は、請求項5に於いて、前記所定の転床条件は各転床条件毎に各々優先度を有するとともに、待機患者に適した病床の空きという転床条件も優先度を有し、前記要転床患者表示手段は、患者が満たした転床条件の優先度を表示することにより当該患者が要転床患者に設定されていることを表示する、ことを特徴とする診療支援システムである。請求項7の発明は、請求項6に於いて、前記所定の転床条件は、優先度の高い順に、当日の手術予定、当日のベッド使用期限の満了、看護度の変更であり、その下位に待機患者に適した病床の空きという転床条件の優先度が位置付けられている、ことを特徴とする診療支援システムである。請求項8の発明は、請求項4～請求項7の何れかに於いて、前記付帯設備は、患者の看護度に応じて定まる診療に必要な診療設備と、患者の利便性を改善する利便設備である、ことを特徴とする診療支援システムである。請求項9の発明は、請求項4～請求項8の何れかに於いて、転床登録対象の患者に関する所要の検索条件を与えて前記病床検索手段を起動するための病床検索画面は、前記転床登録画面にて起動される、ことを特徴とする診療支援システムである。

【0010】請求項10の発明は、請求項1～請求項9の何れかに於いて、前記転床登録画面は、前記患者選択画面での転床登録対象の患者の選択により起動される、ことを特徴とする診療支援システムである。

【0011】

【発明の実施の形態】図1は実施の形態の診療支援システムの構成を示すブロック図である。図示のシステムは、制御装置14と、表示装置11と、キーボードやマウス等の入力装置12と、印刷装置13と、補助記憶装置（ハードディスク）15と、主記憶装置（メモリ）16を有するコンピュータ装置である。図示の例では単独のコンピュータ装置として示されているが、本発明の診療支援システムは、LAN上に構成されていてもよい。例えば、病室テーブル、病床テーブル、入院患者テーブル等は、LAN上のサーバが持つ構成であってもよい。

【0012】病室テーブルでは、図7に示すように、ユニークな病室IDに対応付けて、当該病室が属する病棟、当該病室の病室番号、当該病室内の病床数、当該病室にて可能な看護度、当該病室の病室料金、当該病室の付帯設備（トイレ、バス、シャワー、TVゲーム、TV、ビデオ、LAN、電話、洗面）の有無が、記憶されている。看護度とは患者に必要な看護の度合いを示す指標であり、例えば、看護度Aは『絶えず観察を必要とする』、看護度Bは『1～2時間毎の観察を必要とする』、看護度Cは『特に観察を継続する必要は無い』ことをそれぞれ示す。病室テーブルの上記の各データは、図13に例示する病室登録画面にて設定されたものである。

【0013】病床テーブルでは、図8に示すように、ユニークな病床IDに対応付けて、当該病床が属する病室の病室ID、当該病床の病床番号、当該病床の病室内での位置、当該病床の配置の向き、当該病床のプライベート指定の有無、当該病床が使用中の場合の使用始期、当該病床が使用中の場合の使用終期、当該病床が予約済みの場合の使用始期、当該病床が予約済みの場合の使用終期が、記憶されている。プライベートとは、特別な用途に確保するため、通常の転床登録の対象から外したい場合等を考慮した指定である。病床テーブルの上記の各データは、図14に例示する病床登録画面にて設定されたものである。

【0014】入院患者テーブルでは、図9に示すように、ユニークな患者IDを持つ入院患者氏名又は入院予約患者氏名に対応付けて、当該患者が予約済み又は使用中の病床の病床ID、当該患者の手術予定、当該患者に適用されている看護度、当該患者の看護度変更の有無（『有』は変更後の看護度に適合する病床が転床登録されていないこと、即ち、看護度に適合する病床の待機状態であることを示す）、当該患者が予約済み又は使用中の病床の使用始期、当該患者が予約済み又は使用中の病床の使用終期、待機の有無（『有』は所望の付帯設備を持つ病床が転床登録されていないこと、即ち、所望の付帯設備を持つ病床の待機状態であることを示す）、待機『有』の場合の付帯設備の希望条件（当該患者が付帯設備に関して持つ希望条件）が、記憶されている。

【0015】〔1〕転床登録の概要：図1に即して、且つ、図10～図12を参照して、転床登録のための手順の概要を説明する。まず、入院患者一覧画面（図10）が表示される（S61）。次に、システムは、入院患者一覧画面に表示するための各種のデータを取得して表示用に設定し、入院患者一覧画面上に表示する（S62）。例えば、入院患者テーブルから患者氏名と患者IDと入院日を取得する。また、入院患者テーブルの病床IDをキーとして病床テーブルから病床番号を取得するとともに病床テーブルの病室IDをキーとして病室テーブルから病室番号を取得する。また、入院患者テーブルの患者IDをキーとしてメモリ16上の転床優先度データから転床優先度を取得する。これにより、患者が転床優先度を持つ場合にはその転床優先度が入院患者一覧画面に表示され、操作者は、転床登録が必要な患者とその優先度とを知ることができる。この転床優先度は図3の処理で作成されてメモリ16上に記憶されているデータであり、その処理の詳細は後述する。

【0016】入院患者一覧画面（図10）にて患者が選

択されて、看護度変更チェックボックスにチェックが記入されると(S63でYES)、看護度変更画面(図11上段)が起動される(S64)。これにより、当該患者の看護度の選択と、看護度の変更日(発生日)の入力が可能となる。看護度変更画面でOKボタンが押下されると、入院患者一覧画面に戻る。

【0017】入院患者一覧画面(図10)にて患者が選択されて、転床チェックボックスにチェックが記入されると(S65でYES)、転床登録画面(図11下段)が起動される(S66)。これにより、当該選択患者の転床日時、診療科、及び主治医の入力と、病床(病棟&病室&病床番号)の選択とが可能となる。即ち、転床登録が可能となる。

【0018】当該選択患者に適した病床(空床)を選択するために、空床に関する情報が必要な場合がある。そのような場合には、転床登録画面にて空床検索ボタンを押下する。これにより、空床検索画面(図12)が表示されて、当該選択患者に適した空床の検索が可能となる。空床検索画面での空床検索処理については、図4～6に即して後述する。

【0019】空床検索画面での検索に応答して検索結果が返されると、該空床検索画面内下部に検索結果が表示される。その中から所望の病床を選択して決定ボタンを押下すると、転床登録画面(図11下段)へ戻る。この転床登録画面では、病床(病棟&病室&病床番号)の選択欄に、空床検索画面で選択した病床が表示されている。このため、転床ボタンを押下することにより、その病床を当該選択患者の病床として登録することができる。また、転床ボタンの押下により、画面は入院患者一覧画面へ戻る。

【0020】〔2〕転床オーダー(転床優先度)作成手順: 図3に即して、且つ、図7～図9を参照して、転床優先度の作成手順を説明する。まず、入院患者及び入院予約患者の順番を示す変数*i*に1がセットされる(S11)。患者*i*の本日の手術予定の有無が、入院患者テーブル(図9)を参照してチェックされる(S12)。その結果、本日の手術が予定されている場合は(S12でYES)、患者*i*の転床優先度に1がセットされる(S13)。転床優先度は番号が若いほど優先度が高いことを表す。一方、患者*i*の本日の手術予定が無い場合は(S12でNO)、ステップS13はジャンプされる。

【0021】患者*i*の転床優先度が1でないことを条件として(S14でNO)、患者*i*の病床が本日使用期限を迎えるか否か、入院患者テーブル(図9)を参照してチェックされる(S15)。その結果、本日使用期限を迎える場合は(S15でYES)、患者*i*の転床優先度に2がセットされる(S16)。一方、患者*i*に転床優先度1が設定済みの場合や(S14でYES)、患者*i*の病床が本日使用期限にならない場合は(S15でNO)、ステップS16はジャンプされる。

【0022】患者*i*の転床優先度が1や2でないことを条件として(S17でNO)、患者*i*の看護度変更が『有』でないか否か、入院患者テーブル(図9)を参照してチェックされる(S18)。即ち、変更後の看護度に適合する病床が転床登録済みか否かチェックされる。その結果、変更後の看護度に適合する病床が未だ転床登録されていない場合は(S18でYES)、患者*i*の転床優先度に3がセットされる(S19)。一方、患者*i*に転床優先度1又は2が設定済みの場合や(S14でYES)、患者*i*に適合する看護度の病床が転床登録済みの場合は(S18でNO)、ステップS19はジャンプされる。

【0023】患者*i*の転床優先度が1～3でないことを条件として(S20でNO)、患者*i*の待機が『有』でないか否か、入院患者テーブル(図9)を参照してチェックされる(S21)。即ち、患者*i*の希望の付帯設備を持つ病床が転床登録済みか否かチェックされる。その結果、患者*i*の希望の付帯設備を持つ病床が未だ転床登録されていない場合は(S21でYES)、患者*i*の希望の付帯設備を持つ病床の空きの有無が、病室テーブル(図7)と病床テーブル(図8)とを参照してチェックされる(S22)。その結果、患者*i*の希望の付帯設備を持つ病床に空きが有れば(S22でYES)、患者*i*の転床優先度に4がセットされる(S23)。一方、患者*i*に転床優先度1, 2, 又は3が設定済みの場合や(S20でYES)、患者*i*の希望の付帯設備を持つ病床が転床登録済みの場合や(S21でNO)、患者*i*の希望の付帯設備を持つ病床に空きが無い場合は(S22でNO)、ステップS23はジャンプされる。

【0024】ステップS24で変数*i*がインクリメントされ、全ての入院患者及び入院予約患者についてステップS12～S23の処理が終了するまで(S25の判定がYESとなるまで)、上記の処理が繰り返される。

【0025】〔3〕空床検索手順: 図4～6(上段)に即して、且つ、図6(下段)と図7～図9を参照して、空床検索手順を説明する。まず、空床検索画面(図12)から入力された各検索条件(開始日時、終了日時、病室内のベッド数、病室料金、患者の状態等(疾病、性別、看護度)、付帯設備(トイレ、バス、シャワー、TVゲーム、TV、ビデオ、LAN、電話、洗面)の有無、病床条件(病室内位置、向き、プライベート))が、それぞれ取得される(S31)。

【0026】次に、病床テーブル(図8)から、上記検索条件中の開始日時と終了日時で規定される期間に空きである病床が検索される(S32)。その結果、上記期間に空きの病床が検索された場合は(S33でYES)、当該病床の病床IDが第1のメモリエリア(図5下段参照)に保持される(S34)。一方、当該期間に空床が無い場合は(S33でNO)、その旨が返される(S53)。

【0027】次に、第1のメモリエリアに保持されている病床の中で、前記検索条件中の看護度の規定を満足する病床が抽出される(S35)。この抽出では、病床テーブル(図8)と病室テーブル(図7)が参照される。その結果、上記の看護度を満たす病床が抽出された場合は(S36でYES)、当該病床の病床IDが第2のメモリエリア(図5下段参照)へ移動される(S37)。なお、上記の看護度を満たす病床が無い場合は(S36でNO)、ステップS37はジャンプされ、したがって、病床IDのメモリエリアの移動も行われない。

【0028】前記検索条件中で付帯設備の何れかにチェック記入が有る場合、即ち、当該患者が付帯設備の希望を持つ場合は(S38でYES)、第2のメモリエリアに保持されている病床の中で、上記チェック記入の有る付帯設備を持つ病床が、病床テーブル(図8)と病室テーブル(図7)を参照して抽出される(S39)。その結果、上記チェック記入の有る付帯設備を持つ病床が抽出された場合は(S40でYES)、当該病床の病床IDが第3のメモリエリア(図5下段参照)へ移動される(S41)。一方、上記チェック記入の有る付帯設備を持つ病床が無い場合は(S40でNO)、設備不適合フラグが1にセットされる(S44)。

【0029】ステップS42～S52では、上記の処理に応じた検索結果が作成されて、空床検索画面へ返される。例えば、第3のメモリエリアに病床が記憶されている場合は(S42でYES)、空床期間、看護度、及び所望の付帯設備の条件を満たす病床が検索された場合であり、その結果が返される(S43)。

【0030】また、第3のメモリエリアに病床は無いが(S42でNO)、第2のメモリエリアに病床が記憶されており(S45でYES)、且つ、設備不適合フラグがセットされていない場合は(S46でYES)、空床期間と看護度を満たす病床が検索された場合であり、且つ、付帯設備に関する当該患者の希望は無かった場合であり、その結果が返される(S47)。

【0031】また、第3のメモリエリアに病床は無いが(S42でNO)、第2のメモリエリアに病床が記憶されており(S45でYES)、しかし、設備不適合フラグが1にセットされている場合は(S46でNO)、空床期間と看護度を満たす病床は検索されたが、当該患者が希望する付帯設備を持つ病床に空きは無かった場合であり、その結果が返される(S48)。また、入院患者テーブル(図9)の当該患者の待機に『有』が設定されるとともに(S49)、当該患者の望む付帯設備に『有』が設定される(S50)。

【0032】また、第3のメモリエリアにも第2のメモリエリアにも病床が記憶されていない場合は(S42でNO、且つ、S45でNO)、第1のメモリエリアにのみ病床が記憶されている場合であり、空床期間を満たす病床は検索されたが、当該患者の看護度に適合する病床

に空きは無い場合である。このため、その結果が返される(S51)、入院患者テーブル(図9)の当該患者の看護度変更に『有』が設定される(S52)。

【0033】なお、上記では、付帯設備を一括して扱っているが、これらを細分して適宜の単位でまとめて扱うように構成してもよい。その場合は、看護度と付帯設備とを区別して処理した手法を類推適用すればよい。また、上記では、メモリエリアを区別することで、種々の検索結果を保持するようにしたが、本発明では、空床検索画面で入力された検索条件に従って検索できればよく、上記の手法に限定されないことは勿論である。

【0034】

【発明の効果】請求項1の発明では、所定の転床条件を満たした患者が転床登録の必要な要転床患者に設定され、患者が要転床患者に設定されているか否かが患者選択画面に各患者毎に各々表示される。即ち、一覧表示されている入院患者の中で、転床登録が必要な患者を明示することができる。請求項2の発明では、所定の転床条件が各転床条件毎に優先度を有し、患者が要転床患者に設定されているか否かと併せて、転床条件の優先度を患者選択画面に各患者毎に各々表示される。即ち、一覧表示されている入院患者の中で、転床登録が必要な患者を、その優先度とともに明示することができる。請求項3の発明では、所定の転床条件が具体的に与えられる。つまり、優先度の高い順に、当日の手術予定、当日のベッド使用期限の満了、看護度の変更として、所定の転床条件を与えることができる。

【0035】請求項4の発明では、病床を利用可能な患者範囲を規定する基本患者条件と病床の付帯設備を規定する付帯設備情報と病床の利用可能期間を規定する空床期間情報とが各病床毎に各々管理され、転床登録対象の患者と前記基本患者条件とが照合され、該患者の病床利用予定期間と前記空床期間情報とが照合され、該患者に望まれる付帯設備と前記付帯設備情報とが照合されて、該患者に適する病床が検索される。また、検索の結果、基本患者条件と空床期間情報と付帯設備情報の全てを満足する病床は無いが基本患者条件と空床期間情報を満足する病床が有る場合は当該病床への転床登録が促され、登録されると該患者が転床登録を待機中の待機患者に設定される。また、待機患者に適する病床が検索された場合は該待機患者が転床登録の必要な要転床患者に設定され、患者が要転床患者に設定されているか否かが患者選択画面の各患者毎に各々表示される。即ち、所望の付帯設備を備えた病床(患者に必要な看護度合いに適合する病床、患者が望む付帯設備を備えた病床)を検索することができる。また、所望の付帯設備を備えた病床が無い場合には、最低限の基本要件を備えた空床(基本患者条件と空床期間情報に適合する病床)を登録しておき、所望の付帯設備を備えた病床が空いた時点で該病床に切り換えるようにすることができる。

11

【0036】請求項5の発明では、空き病床（所望の付帯設備を備えた空床）が検索された待機患者と併せて、所定の転床条件を満たした患者が、要転床患者に設定されて患者選択画面に各患者毎に表示される。即ち、一覧表示されている中で、所望の付帯設備を備えた空き病床が検索された待機患者と併せて、所定の転床条件を満たした患者を、転床登録が必要な患者として明示することができる。請求項6の発明では、所定の転床条件と待機患者に適した病床の空きという転床条件とがそれぞれ優先度を有し、これらの優先度が患者選択画面に各患者毎に各々表示される。即ち、即ち、一覧表示されている入院患者の中で、転床登録が必要な患者（所望の付帯設備を備えた空床が検索された患者を含む）を、その優先度とともに明示することができる。請求項7の発明では、所定の転床条件が具体的に与えられる。つまり、優先度の高い順に、当日の手術予定、当日のベッド使用期限の満了、看護度の変更、待機患者に適した病床の空きとして、所定の転床条件を与えることができる。請求項8の発明では、付帯設備が、患者の看護度に応じて定まる診療に必要な診療設備と患者の利便性を改善する利便設備とであるシステム構成を、与えることができる。請求項9の発明では、病床検索画面を転床登録画面から起動するシステム構成を与えることができる。請求項10の発明では、転床登録画面を患者選択画面での転床登録対象の患者の選択により起動するシステム構成を与えることができる。

【図面の簡単な説明】

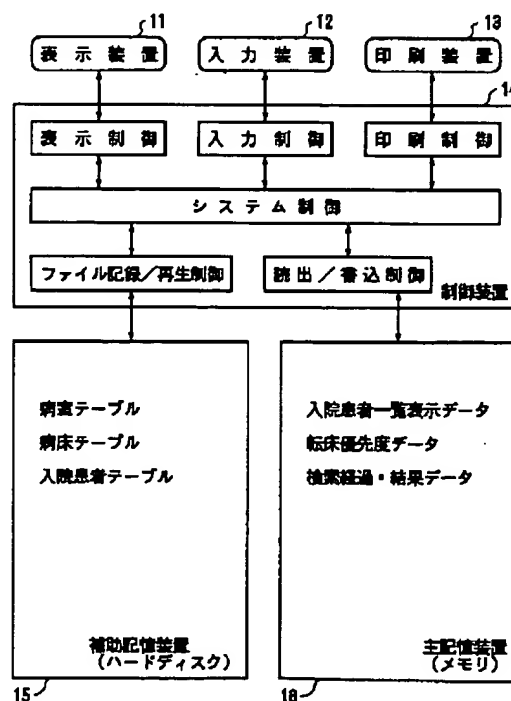
12

【図1】実施の形態のシステム構成を示すブロック図。
 【図2】入院患者一覧画面から入り、転床登録を行う手順を示すフローチャート。
 【図3】転床オーダー作成手順を示すフローチャート。
 【図4】空床検索手順を示すフローチャートの一部。
 【図5】空床検索手順を示すフローチャートの一部。
 【図6】空床検索手順を示すフローチャートの一部（上段）と、メモリエリアに格納されるデータを示す説明図（下段）。
 【図7】病室テーブルを示す説明図。
 【図8】病床テーブルを示す説明図。
 【図9】入院患者テーブルを示す説明図。
 【図10】入院患者（一覧）画面を例示する説明図。
 【図11】看護度変更画面を例示する説明図（上段）と、転床登録画面を例示する説明図（下段）。
 【図12】空床検索画面を例示する説明図。
 【図13】病室登録画面を例示する説明図。
 【図14】病床登録画面を例示する説明図。
 【図15】従来のシステムの画面遷移を示す説明図。

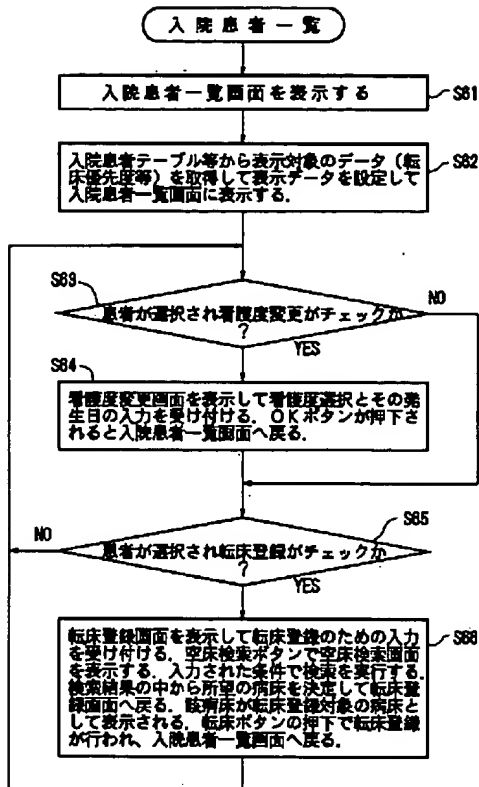
20 【符号の説明】

- 11 表示装置
- 12 入力装置
- 13 印刷装置
- 14 制御装置
- 15 補助記憶装置（ハードディスク）
- 16 主記憶装置（メモリ）

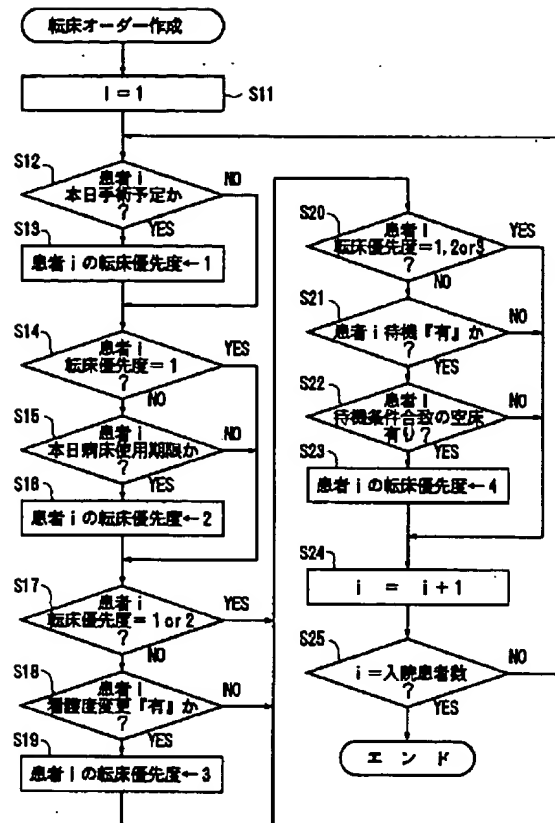
【図1】



【図2】



【図3】

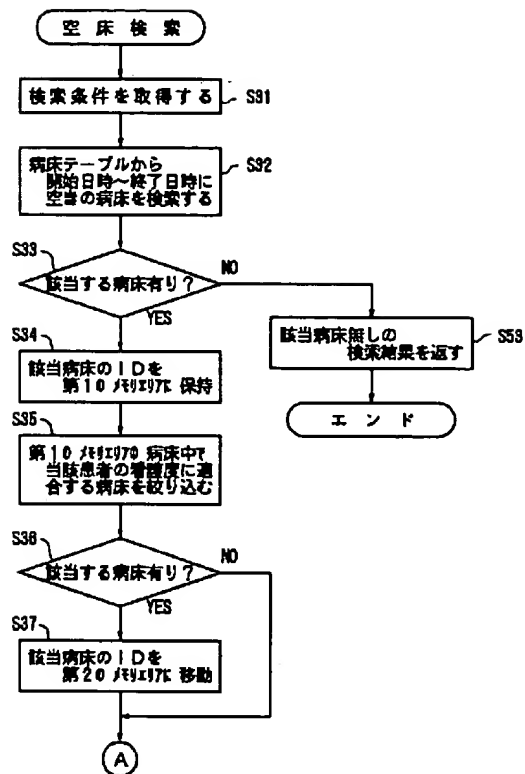


【図7】

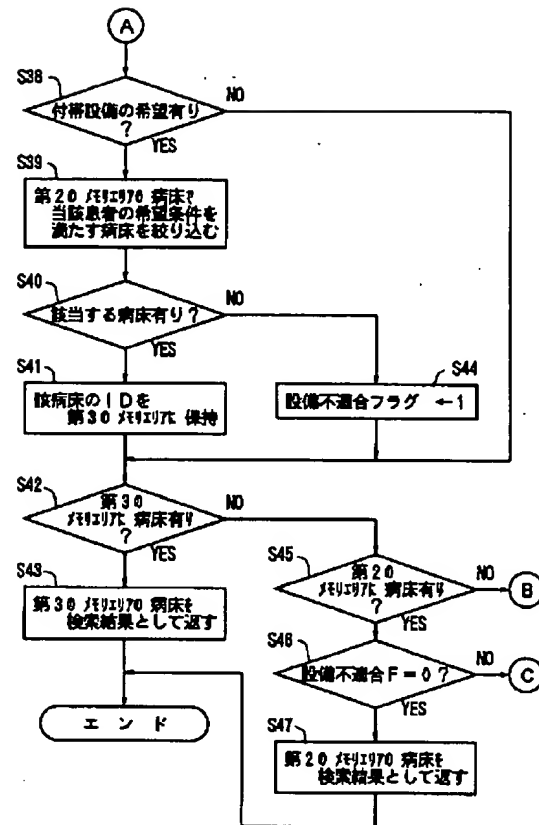
病室テーブル

病室ID	病棟	室番号	病床数	看護度	室料	トイレ	バス	シャワ	TV9-A	TV	E付	LAN	電話	洗面
1	東1	101	4	C	3000					有	有			有
2	東1	102	4	C	3000					有	有			有
3	東1	103	4	C	3000					有	有			有
4	東1	104	4	C	3000					有	有			有
5	東1	105	4	C	3000					有	有			有
6	東1	201	4	C	8000	有		有	有	有	有	有		有
7	東1	202	4	C	8000	有		有	有	有	有	有		有
8	東1	203	4	C	8000	有		有	有	有	有	有		有
i	西1	303	1	A	8000	有	有							有

【図4】



【図5】

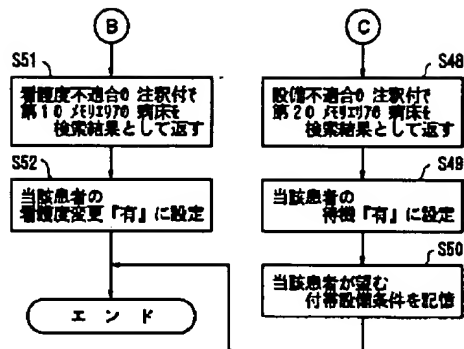


【図8】

病床テーブル

病床ID	病室ID	病床番号	位置	向き	カーペット	使用始期	使用終期	予定始期	予定終期
1	1	1	窓側	南		01.05.30/15	—	—	—
2	1	2	窓側	南		01.06.20/15	01.07.20/10	—	—
3	1	3	廊下側			—	—	01.07.22/15	—
4	1	4	廊下側		有	—	—	01.07.28/10	01.07.30/15
5	2	1	窓側	北		—	—	—	—
6	2	2	窓側	北		01.06.24/15	01.07.22/10	01.07.22/15	01.08.06/10
7	2	3	廊下側			01.07.01/15	—	—	—
8	2	4	廊下側		有	01.07.18/10	01.07.18/15	—	—
j	i	1	窓側	北		01.07.18/12	—	—	—

【図6】



第1のメモリエリア
空床期間：検索条件を満たす 看護度：検索条件を満たさない
第2のメモリエリア
空床期間：検索条件を満たす 看護度：検索条件を満たす 付帯設備：検索条件に存在しない（設備不適合F=0） 検索条件を満たさない（設備不適合F=1）
第3のメモリエリア
空床期間：検索条件を満たす 看護度：検索条件を満たす 付帯設備：検索条件を満たす

【図9】

入院患者テーブル								--- 待機「有」の希望条件		
患者氏名	患者ID	病床ID	手術予定	看護度	変更	使用始期	使用終期	待機	有	有
鈴木 太郎	1310	51		C		01.05.20/15	—	有	有	有
田中 次郎	1781	52		C		01.04.25/15	—		—	—
佐藤 三郎	0321	53	01.07.19/10	B	有	01.08.10/15	—		—	—
加藤 花子	2010	61		A	有	01.07.10/15	—		—	—
斉藤 孝雄	1987	71		C		01.07.10/10	01.07.25/15		—	—
上野 幸男	1654	72		C		01.08.20/15	01.07.19/10		—	—
高橋 一郎	1212	73		C		01.07.05/15	—		—	—

【図10】

入院患者

入院患者

301	1	山田一郎	1	H13.5.16		
301	2	山田次郎	2	H13.5.15		
301	3	山田三郎	3	H13.3.31	H13.5.16	1
301	4	加藤花子	4	H13.4.13		
302	1	斎藤孝雄	5	H13.4.4		
302	2	野口幸男	6	H13.3.31	H13.5.15	2
303	1	高橋俊夫	8	H13.5.8	H13.5.15	

H13.5.15

【図13】

病床設定

旧病棟

101号室	4	1000
102号室	6	1500
103号室	6	2000

101号室

4

1500

肺炎

女

A

☒ ☒ ☒ ☒

☒ ☒ ☒ ☒

【図11】

右産歴表

(表示のみ)
(表示のみ)
H13.5.18
B

野原台録

(表示のみ)	(表示のみ)
H13.5.18	9 20
産科	医師太郎
A病棟	101号室 1

【図12】

空床検索

H13.5.18 9 20

H13.5.23 9 20

1 2 3000円以下

☒ ☒ ☒

☒ ☒ ☒ ☒ ☒

☒ ☒ ☒ ☒ ☒

窓側 ☒ 南向き ☒

検索結果

東1	101	4	3000	1	○
東1	102	4	3000	1	
東1	103	4	3000	2	
西1	201	4	3000	1	
西1	202	4	3000	1	
西1	203	4	3000	1	

【図14】

病床設定

101号室

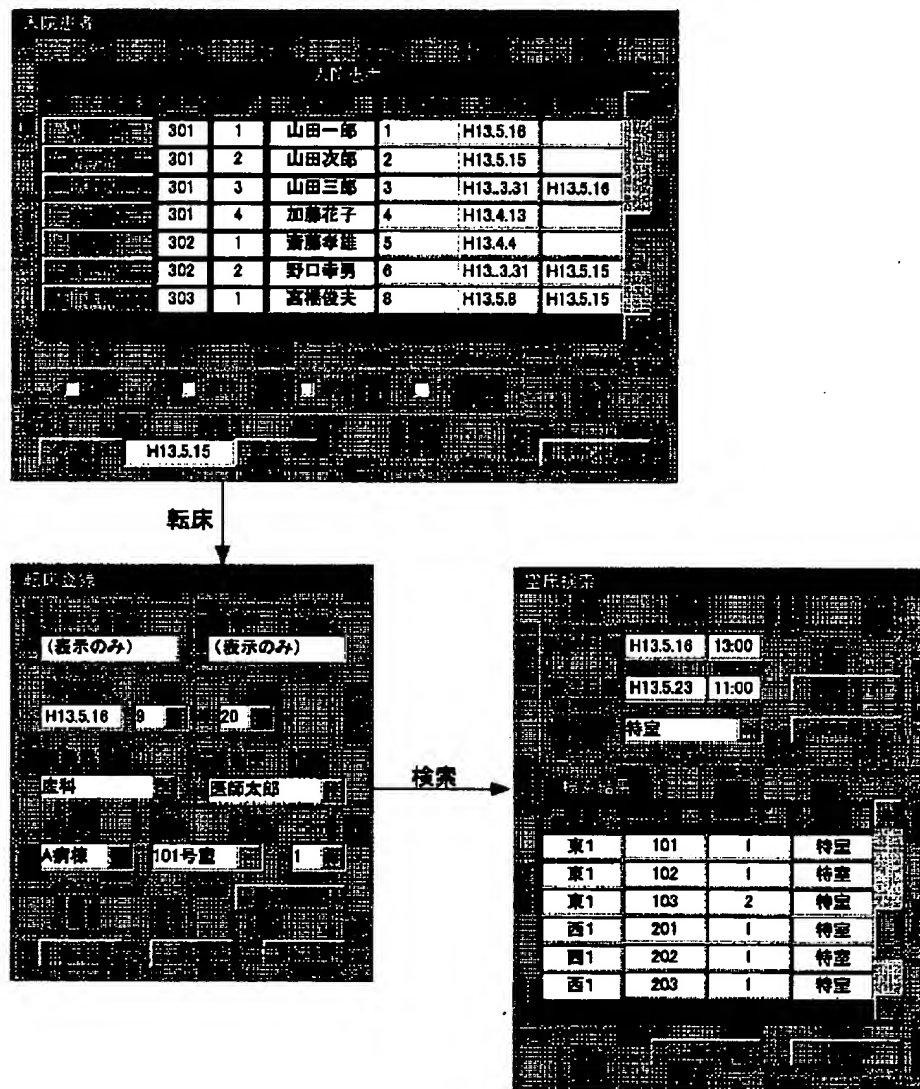
1	窓側	東向き	<input type="radio"/>
2	通路側	東向き	<input type="radio"/>
3	通路側	西向き	<input type="radio"/>

1 ☐

窓側

東向き

【図15】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☒ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.